

社会教育委員として、今、私たちにできること

【登壇者】

■ 三次市社会教育委員会 議長 森川 幸郎



三次市社会教育委員として、三次市内において家庭教育に係る調査研究を行い、平成27年12月に家庭教育に関する提言書を提出した。提言内容を踏まえたリーフレット「三次の子育て五か条」を作成するなど、家庭教育を支援・啓発する活動を積極的に行い、幼少期から高等学校まで幅広い世代への家庭教育支援の在り方についての検討など取組を推進している。社会教育委員会議の改善等、社会教育委員の意識改革に取り組み、社会教育委員と行政が連携・協働しながら、三次市の家庭教育支援の施策の推進に寄与している。

■ 尾道市社会教育委員会 副議長 緒方 恵理子



尾道市社会教育委員として、尾道市の社会教育全般の推進に関わる他、「向東地区家庭教育支援チーム“親だから”」の代表を務め、保護者等を対象に「『親の力』をまなびあう学習プログラム」や親子で行う体験活動等の家庭教育の機会を多数提供する等、家庭教育支援の推進に大きく貢献している。また、尾道市子育てサロン連絡協議会の会長も務め、市内の地域型サロンの充実と発展に力を注いでいる。絵本の読み聞かせのボランティアを30年以上継続している他、保育所や小中学校などで教育支援活動を多岐にわたって行っている。

■ 府中市社会教育委員会 議長 岡本 由姫美



府中市社会教育委員として、府中市の社会教育全般の推進に関わり、長きに渡って社会教育委員会議の中心的役割を果たす他、広島県社会教育委員連絡協議会で理事を務め、県全体の社会教育推進にも貢献している。また、保育士、保育所運営の経験を生かし、家庭教育の分野から子育て、親育ちの環境整備に尽力している。その他、レクリエーションに関する資格を多数保有し、対人援助技術としてのレクリエーションを生かし、地域のサロン・高齢者施設・病院・地域子供会等でレクリエーション支援を行っている。

【コーディネーター】

愛媛県新居浜市生涯学習センター 所長 関 福生
(愛媛県新居浜市生涯学習大学 学長)

愛媛県新居浜市出身。広島大学文学部卒業後、新居浜市役所入庁。泉川公民館在職中の昭和57年に香川大学社会教育主事講習修了。昭和58年には社会教育主事として新居浜市教育委員会社会教育課で勤務。その後、職員研修所や生涯学習課、児童福祉課で勤務。平成17年には社会教育課長として、地域主導型公民館への移行や学校支援地域本部等の設置を推進。その後、総合政策課長、市民部長を歴任し、平成28年に新居浜市教育長に就任。令和元年度より現職。文部科学省中央教育審議会生涯学習分科会臨時委員も務めており、全国各地で講演等を行っている。